

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	傷病者の容体観察実施中、傷病者のインスリン注射針による針刺し事案
3. 体験した事例の中心的要素	救急隊員が死後硬直の進行状況を観察している最中、枕元に放置されていたインスリン注射針に気付かず、左手中指に刺さったもの。 傷病者には糖尿病の現病歴があり、インスリン「レベミル注イノレット」を1日1回使用していた模様。救急隊員に刺さった注射針は使用済である可能性が高い。
4. 体験した事例の原因・理由	①当該救急隊は、現場での状況評価に留意していたが、傷病者の頸部と枕の隙間にあった1cmほどのディスプレイ針に気付くことができなかった。 ②静脈留置針による針刺し事故は、安全装置の導入や教育により、近年、事故発生件数が減少傾向にある。その一方、インスリン注射針などの事故は、盲点であり危険予知に及ばなかったものである。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。(大丈夫だろうと思った。)
------------------	------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成29年1月17日 午前9時頃
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋内: 傷病者宅1階居間
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他: 針刺し事故
7. 事例体験時の活動	救急現場活動初期
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他: 死後硬直確認中(不搬送事案)
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

● 事例発生・経過

--	--	--	--

●●●

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活

b. 注意力が欠如していた

- ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。

--	--

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

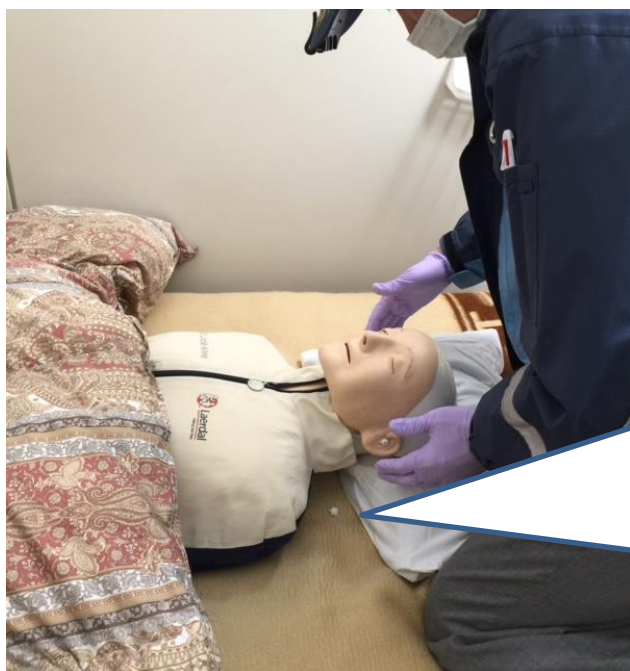
○活動環境の対策について

糖尿病の現病歴がある場合、可及的にインスリンの有無と使用状況を確認するとともに、周囲に注射針が潜んでいる可能性があることを念頭に置きながら活動する必要がある。

県防災局消防保安課および地区MC協議会へ「救急隊活動中に発生した事故」として詳細報告。
地区MC症例検討会にて「周知すべき事案」として注意喚起を目的に症例発表。

○指揮・情報伝達の対策について

--



枕元にあったインスリン注射針